【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】令和7年7月1日(2025.7.1)

【国際公開番号】WO2025/022660
【出願番号】特願2023-578138(P2023-578138)
【国際特許分類】
H02K 5/136(2006.01)
【FI】
H02K 5/136

【手続補正書】
【提出日】令和6年3月15日(2024.3.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
固定子と、
前記固定子の内側で回転可能な回転子と、
前記回転子とともに回転可能なシャフトと、
フレームと、ブラケットと、前記固定子に電気的に接続可能な端子部材と、を有する筐体と、
を備え、
前記フレームは、
前記シャフトの軸方向において前記筐体の外部に向かう方向である第１方向に当該フレームを貫通し前記固定子及び前記回転子が収容される第１貫通孔、を形成する第１内周面と、
前記第１方向と交差する方向に当該フレームを貫通し前記端子部材が収容される第２貫通孔、を形成する第２内周面と、
前記第１方向における前記第１内周面の端に接続され、前記第１方向に向く第１接合面と、
前記第２内周面から突出し、前記端子部材を支持する支持部と、
前記シャフトの径方向の外方における前記第２内周面の端から前記第２貫通孔とは反対側に延び、前記径方向の外方を向く第３接合面と、
を有し、
前記ブラケットは、
前記第１接合面に面する第２接合面と、
前記第２接合面から前記第１方向の反対の第２方向に突出し前記第１貫通孔に嵌められる突起と、
を有し、
前記第１方向における前記フレームの端部を塞ぎ、
前記突起は、前記第１内周面に面する外周面を有し、前記第１方向と交差する方向において前記支持部と重なり、
前記端子部材は、
カバーと、
前記カバーを貫通した端子と、
を有し、

前記カバーは、
前記第２貫通孔に嵌められる栓部と、
前記栓部から突出し、前記第３接合面を覆い、ボルトによって前記フレームに結合されるフランジと、
を有する、
回転電機。
【請求項２】
前記フレームは、前記支持部から第１方向と交差する方向に延びるとともに、前記第１方向に向く第１面を有し、
前記突起は、前記第１面に面する第２面を有する、
請求項１に記載の回転電機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明の実施形態の回転電機は、固定子と、回転子と、シャフトと、筐体と、を備える。前記回転子は、前記固定子の内側で回転可能である。前記シャフトは、前記回転子とともに回転可能である。前記筐体は、フレームと、ブラケットと、前記固定子に電気的に接続可能な端子部材と、を有する。前記フレームは、第１内周面と、第２内周面と、第１接合面と、支持部と、第３接合面と、を有する。前記第１内周面は、前記シャフトの軸方向において前記筐体の外部に向かう方向である第１方向に当該フレームを貫通し前記固定子及び前記回転子が収容される第１貫通孔を形成する。前記第２内周面は、前記第１方向と交差する方向に当該フレームを貫通し前記端子部材が収容される第２貫通孔を形成する。前記第１接合面は、前記第１方向における前記第１内周面の端に接続され、前記第１方向に向く。前記支持部は、前記第２内周面から突出し、前記端子部材を支持する。前記第３接合面は、前記シャフトの径方向の外方における前記第２内周面の端から前記第２貫通孔とは反対側に延び、前記径方向の外方を向く。前記ブラケットは、前記第１接合面に面する第２接合面と、突起と、を有し、前記第１方向における前記フレームの端部を塞ぐ。前記突起は、前記第２接合面から前記第１方向の反対の第２方向に突出し前記第１貫通孔に嵌められる。さらに、前記突起は、前記第１内周面に面する外周面を有し、前記第１方向と交差する方向において前記支持部と重なる。前記端子部材は、カバーと、前記カバーを貫通した端子と、を有する。前記カバーは、前記第２貫通孔に嵌められる栓部と、前記栓部から突出し、前記第３接合面を覆い、ボルトによって前記フレームに結合されるフランジと、を有する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
筐体１４は、例えば、金属により箱型に形成される。なお、筐体１４は、他の材料で形成されても良い。筐体１４は、固定子１１と、シャフト１２の一部と、回転子１３と、を収容している。筐体１４は、フレーム２１と、二つのブラケット２２と、二つの油切２３と、二つの端子板２４と、第１ボルト２５と、第２ボルト２６と、第３ボルト２７と、を有する。なお、端子板２４は、端子部材の一例である。第３ボルト２７は、ボルトの一例である。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００６８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６８】
フレーム２１は、内周面７１と、接合面７２と、第１段状面７３と、第２段状面７４と、をさらに有する。内周面７１は、径方向に延びる略筒状の面である。内周面７１は、貫通孔３１の一部を形成（規定、又は区画）する。内周面７１は、貫通孔３１の内側に向く。なお、内周面７１は、第２内周面の一例である。接合面７２は、第３接合面の一例である。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１６】
１　回転電機
１１　固定子
１２　シャフト
１３　回転子
１４　筐体
２１　フレーム
２１ｂ　端部
２２　ブラケット
２２１　突起
２４　端子板（端子部材）
２４１　カバー
２４２　端子
２４３　栓部
２４４　フランジ
２７　第３ボルト（ボルト）
３１　貫通孔（第２貫通孔）
５０　貫通孔（第１貫通孔）
５１　嵌合口
５２　内周面（第１内周面）
５３　接合面（第１接合面）
５４　段状面（第１面）
６１　外周面
６２　端面（第２面）
６３　接合面（第２接合面）
７１　内周面（第２内周面）
７２　接合面（第３接合面）
７６　段（支持部）
Ｄｘｏ　軸方向の外側（第１方向）
Ｄｘｉ　軸方向の内側（第２方向）
Ｄｒｏ　径方向の外側
Ｄｒｉ　径方向の内側